

## SPring-8運転・利用状況

財団法人高輝度光科学研究センター  
研究調整部

## 平成22年1～2月の運転・利用実績

SPring-8は1月14日から2月26日までマルチバンチおよびセベラルバンチ運転で第6サイクルの運転を実施した。第6サイクルでは大きなトラブルもなく順調な運転であった。総放射光利用運転時間(ユーザータイム)内での故障等による停止時間(down time)は約0.7%であった。

放射光利用実績については、実施された共同利用研究の実験数は合計371件、利用研究者は1,808名で、専用施設利用研究の実験数は合計197件(暫定値)、利用研究者は809名(暫定値)であった。

## 1. 装置運転関係

## (1) 運転期間

第6サイクル(1/14(木)～2/26(金))

## (2) 運転時間の内訳

運転時間総計	約1,026時間
装置の調整およびマシンスタディ等	約211時間
放射光利用運転時間	約809時間
故障等によるdown time	約6時間
総放射光利用運転時間(ユーザータイム = + ) に対するdown timeの割合	約0.7%

## (3) 運転スペック等

第6サイクル(マルチバンチおよびセベラルバンチ運転)

- ・4/58filling + 53bunches
- ・203bunches
- ・160bunch train × 12(マルチバンチ)
- ・11bunch train × 29
- ・入射は電流値優先モード(2～3分毎(マルチバンチ時)もしくは20～40秒毎(セベラルバンチ時))のTop-Upモードで実施。
- ・蓄積電流 8GeV、～100mA

## (4) 主なdown timeの原因

- ・SR六極電磁石の不具合および交換

## 2. 利用関係

## (1) 放射光利用実験期間

第6サイクル(1/18(月)～2/23(火))

## (2) ビームライン利用状況

## 稼働ビームライン

共用ビームライン	26本
専用ビームライン	17本
理研ビームライン	7本
加速器診断ビームライン	2本

共同利用研究実験数	371件
共同利用研究者数	1,808名
専用施設利用研究実験数	197件(暫定値)
専用施設利用研究者数	809名(暫定値)

## 平成22年3～4月の実績

SPring-8は2月27日から4月1日まで年度末運転停止期間とし、加速器やビームラインに係わる機器の改造・点検作業、電気・冷却設備等の機器の点検作業等を行った。

## 平成22年4月の運転・利用実績

SPring-8は4月2日から4月28日までマルチバンチおよびセベラルバンチ運転で第1サイクルの運転を実施している。第1サイクルの運転・利用実績については次号にて掲載する。

## 今後の予定

- (1) 4月29日から5月10日まで春の点検調整期間とし、加速器やビームラインに係わる機器の改造・点検作業、電気・冷却設備等の機器の点検作業等を行う予定である。
- (2) 点検調整期間後の運転再開は5月11日からの予定で6月11日まで第2サイクルの運転を行う。但し、5月11日から5月13日まではマシンおよびBL立ち上げ調整期間としユーザーへの放射光の提供は行わない予定である。詳細な運転条件については決定しだいユーザーにSPring-8のWWW等で報告する。